



2026年8月7日

各 位

会 社 名 コムシード株式会社
代表者名 代表取締役社長CEO 塚原謙次
コード番号 3739・名証ネクスト市場
問合せ先 コーポレート本部長 吉田篤史
(TEL. 03-5289-3111)

代表取締役社長CEOによる
2027年3月期第1四半期決算に寄せたメッセージ公開について

本日、2027年3月期第1四半期決算発表を行うにあたり、当社代表取締役社長CEO 塚原謙次からのメッセージを公開しましたのでお知らせいたします。

詳細は添付資料をご覧ください。

以上



コムシード株式会社 代表取締役社長CEO 塚原 謙次より

2027年3月期第1四半期決算発表に寄せて

本日、2026年8月7日に2027年3月期第1四半期決算発表を実施いたしました。決算報告の詳細については本日発表の決算短信をご確認ください。ここでは、私から第1四半期の決算内容の補足と、通期計画達成に向けた進捗についてご報告いたします。

1.2027年3月期 第1四半期連結累計期間の結果について

当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高4億1,623万円(前年同四半期比24.6%減)、営業損失5,094万円(前年同四半期は営業利益2,521万円)、経常損失5,112万円(前年同四半期は経常利益2,482万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失3,547万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益901万円)となりました。

主力である有料ゲームアプリにおいて、当第1四半期は新規タイトルの配信を行わなかったことや既存タイトルの収益貢献の落ち着きから前年同期比で減収となり、先行投資の実行と相まって損失計上となりました。しかしながら、これらは通期計画に織り込み済みであり、第1四半期時点において、業績は期初の想定通りに進捗しております。

2.当期の事業展望について

2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、期初より下期偏重の計画を立てており、売上高30億円(前期比21.2%増)、営業利益2億4,000万円(同71.3%増)、経常利益2億3,000万円(同57.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益2億1,000万円(同112.5%増)と、大幅な増収増益を見込んでおります。

当第1四半期は、主力事業である有料ゲームアプリの新規配信を行わず、下期にリリースされるアプリの開発と戦略的マーケティングに注力する先行投資フェーズにあたります。当期は、前期(5本)を大幅に上回る「年間8本以上」の新規有料ゲームアプリの配信を順次予定しており、下期にかけて収益が拡大していく計画です。

現在の遊技機市場では「スマートパチスロ(スマスロ)」の普及により市場の活性化が進んでおり、当社のバーチャルホールサービスおよび有料ゲームアプリへの需要も高まっています。

当社では、この絶好の成長機会を確実に取り込むべく、前期より実機シミュレーターアプリ開発の強化、ならびにトップクラスの有料タイトル獲得に取り組んでまいりました。

具体的なタイトル名は公表できる段階になり次第お知らせいたしますが、すでに多くのファンの皆様がアプリ化を熱望されているビッグタイトルを含む、魅力的な複数タイトルの開発が順調に進行しております。これらのアプリは第2四半期より順次投入してまいります。とりわけ第3四半期には、お客様から強いご要望をお寄せいただいているだけでなく、下期の売上計画達成における最大の柱と位置づける有力タイトルのリリースが控えております。



有料ゲームアプリについては、単体の売上にとどまらず、当社が誇る2大バーチャルホール『グリパチ』および『スロパチスピリット』へと順次展開することで、さらなる売上を見込むモデルです。この、当社のコアコンピタンスである「ワンソースマルチプラットフォーム戦略」により、一つの優良IPから長期継続的な収益を生み出し、トータル収益の最大化と持続的な成長を牽引してまいります。

また、新たな成長領域への取り組みとして、2026年4月24日に発表いたしました韓国トップクラスのショートドラマスタジオであるBAMBOO NETWORK社との資本業務提携にもとづき、グローバルで急速な成長が見込まれるショートドラマ市場への参入を目的として、「ショートドラマ」と「FMVゲーム」の企画・制作を進行しております。

3.財務体質の抜本的健全化の完了と、株主還元に向けた新たなステージへの移行

財務面におきましては、2026年6月23日開催の第35回定時株主総会でのご承認を経て、2026年7月31日を効力発生日として、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分(欠損填補)を実施いたしました。これにより、過去の不採算事業等により計上されていた繰越利益剰余金の欠損が全額解消され、財務基盤の整理が完了いたしました。この欠損填補の完了で、当社はこれまでの構造改革フェーズから、攻めの成長と還元フェーズへと移行いたしました。下期の業績拡大により創出される利益を基盤として、成長投資を継続しつつ、株主の皆様への還元を早期に実現できるよう機動的な資本政策を推進してまいります。

今後とも、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2026年8月7日

コムシード株式会社
代表取締役社長 CEO
塚原 謙次